



岐阜県鋳工業指数(平成22年8月分)

生産指数 前月比 0.2%の低下

1 概況

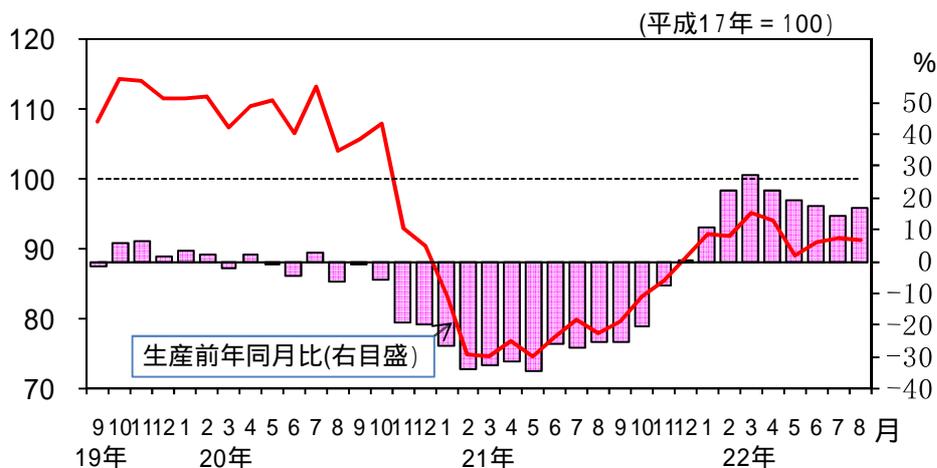
平成22年8月の県内鋳工業の動向を季節調整済指数でみると、プラスチック製品工業、情報通信機械工業等が上昇したものの、化学工業、一般機械工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は0.2%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷指数は2.2%増と上昇に転じ、在庫指数は1.0%増と前月に引き続き上昇した。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は16.9%増となり、9カ月連続で前年を上回った。

(平成17年 = 100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	91.2	0.2	85.9	16.9
出荷	93.3	2.2	88.4	19.8
在庫	107.4	1.0	108.1	0.7

鋳工業指数(生産)推移



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、ボルト・ナット、超硬チップ等が減少したものの、橋りょう、アルミサッシ等が増加したため、2.7%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷は0.8%増と3カ月連続で上昇し、在庫は3.3%減と3カ月ぶりに低下した。

機械工業の生産は、研削盤、超硬工具（超硬チップを除く）等が減少したものの、携帯電話、旋盤等が増加したため、0.5%増と上昇に転じた。また、出荷は3.9%増と上昇に転じ、在庫は7.8%減と3カ月連続で低下した。

窯業・土石製品工業の生産は、触媒担体・セラミックフィルタ、生コンクリート等が減少したものの、特殊炭素製品、ガラス製品（容器類）等が増加したため、0.4%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷は4.9%増と上昇に転じ、在庫は0.5%減と4カ月ぶりに低下した。

化学工業の生産は、無水酢酸、触媒（自動車排気ガス浄化用）が増加したものの、医薬品、メラミン樹脂等が減少したため、22.4%減と低下に転じた。また、出荷は20.9%減と3カ月ぶりに低下し、在庫は8.4%増と3カ月ぶりに上昇した。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製容器、ホース（プラスチック製）等が減少したものの、プラスチック製フィルム、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、5.5%増と上昇に転じた。また、出荷は2.7%増、在庫は3.2%増と、ともに上昇に転じた。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
金属製品工業	96.3	2.7	16.2	93.9	0.8	14.1	83.7	3.3	19.8
機械工業	91.7	0.5	30.4	97.0	3.9	32.9	119.4	7.8	3.8
一般機械工業	78.1	5.6	56.3	102.0	5.9	79.6	-	-	-
電子部品・デバイス工業	92.3	1.4	17.9	94.4	1.3	18.2	-	-	-
輸送機械工業	103.0	0.3	24.6	99.3	2.6	24.9	-	-	-
窯業・土石製品工業	75.1	0.4	8.2	72.8	4.9	6.9	80.2	0.5	9.7
化学工業	96.5	22.4	15.1	95.1	20.9	12.2	101.5	8.4	4.1
プラスチック製品工業	99.7	5.5	8.3	105.5	2.7	7.9	84.0	3.2	0.1

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

